

「補綴装置を口腔内で安定して機能させる為の要点」

佐野 和也

近年、急速に進展している超高齢化に有床義歯の需要は高まるばかりです。一方で不適合な義歯も散見され、ポケットデンチャーと化してしまっているものも見受けられます。

患者さんの実生活において自分の製作した義歯が装着されているのか、顎口腔系の機能を回復できているのかについて疑念を抱きつつ、臨床において様々な種類の補綴装置を製作しながらみえてきた、顎口腔系に必要な形態と機能を解剖学と生理学的な視点から考察します。